

THREEUP

THREEUP

節電/室温センサー付

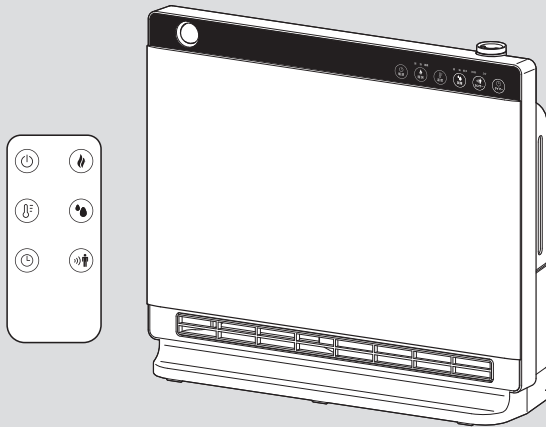
大風量*ハイブリッド加湿セラミックヒーター

ヒートワイドモイスト

CH-T2563

※「大風量」は弊社従来品との比較です。

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1 ~ 4
パッケージ内容	4
別売品	4
仕様	4
各部のなまえ	5 ~ 6

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと	7
設置について	7
リモコンについて	8

ご使用方法

運転する(連続運転)	9
停止する	10
暖房運転を切り替える	10
温度設定モード(自動運転)	11
オフタイマーを設定する	12
節電センサーモード(自動運転)	13
加湿モード	14 ~ 15

点検・サービス

お手入れと保管方法	16 ~ 18
コンセントの点検	19
故障かな?と思ったら	20 ~ 21
保証・サービス	22

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、けがの原因になります。
分解や修理をしないでください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様や取り扱いに不慣れな方、ご自分で体温調節のできない方だけで使ったり、触れさせたりしないでください。

感電やけが、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。

絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。

動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

本体の変形によるショート、発火の原因になります。

吹出口から給水しないでください。

故障や感電、水漏れの原因になります。



禁止

引火性のもの(殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しないでください。

また、本体に向けて吹きかけないでください。

爆発や火災の原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。

火災ややけどの原因になります。

長時間、体の同じ部位を温め続けないでください。

やけどや低温やけどの原因になります。
とくに皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

温風吹出口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。

衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

すき間にピンや針金などの異物を入れたり、ふさいだりしないでください。

- けがや事故の原因になります。
- 過熱による本体の変形、発火の原因になります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。

過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。

コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

警告



禁止

ボタン電池を火の中に入れてたり、水に濡らしたりしないでください。

また、分解や加熱をしないでください。

破裂や発熱の原因になります。

ミストを故意に吸入しないでください。

健康を害する原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちる原因や、発熱による火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードと電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだりしないでください。
- 損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市区町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置場所について、P.7「設置について」を必ずご確認ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



必ず守る



必ず守る



接触禁止

運転中と運転停止直後は、温風吹出口や超音波振動板、ヒーター部に触れないでください。

やけどの原因になります。

⚠ 注意

本製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

家具や壁、カーテンにミストが直接当たる場所には設置しないでください。

シミや汚れの原因になります。

テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

結露による故障や雑音が入る原因になります。

衣類の真下に設置しないでください。

衣類が落下すると、吸い込みによる故障の原因となります。

踏み台にしたり、腰掛けたり、もたれかけたりしないでください。

また、製品の上に物を置かないでください。

転倒、破損によるけがや事故の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

水平で安定している場所に設置してください。斜面など不安定な場所に設置すると、転倒により水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

また、高所から落下すると、けがや破損の原因になります。

犬や猫などのペット用には使わないでください。

ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、事故や故障の原因になります。

ダクトカバーを取り外した状態で運転しないでください。

水漏れや故障の原因になります。

水タンクと本体(水そう部)の水が凍結するような場所では使用しないでください。故障の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

湿度の高い場所(75%以上)では使用しないでください。

家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

運転中は移動させたり、傾けたりしないでください。

水漏れや故障の原因になります。

運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、水タンクと本体(水そう部)の水を捨ててから移動してください。

常温の水道水以外は使用しないでください。

- ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- ・40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- ・電極(+/-)を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- ・汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

- ・「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
- ・節電センサーが汚れていると、作動しなかったり誤作動したりする場合があります。

水タンクと本体(水そう部)の水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。

節電センサー部周囲の環境に注意して設置してください。

設置環境について、P.13「節電センサーモード(自動運転)」をご確認ください。



禁止



禁止



必ず守る

注意



必ず守る

長時間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体(水そう部)に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったままで保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。



必ず守る

ボタン電池は電極(+/-)の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。



接触禁止

温風吹出口や吸気口の内部に指を入れないでください。

やけどやけがの原因になります。

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本 体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
リモコン（CR2032電池内蔵）	1	—	—

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	製品単価（税抜）
吸気フィルター	1	500 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

本体サイズ	幅48×奥行16.5×高さ42 cm	本体重量	約4.1 kg
材質	PP、ABS	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	暖房：強/1110W、弱/550W、加湿：強/90W、弱/15W		
運転モード(暖房)	ヒーター 2段階切替(強/弱)、速暖、温度設定(18～30℃)、節電センサー(自動運転)、加湿2段階切替(強/弱)		
オフタイマー設定	1～8時間(1時間単位)	自動オフタイマー	10時間(暖房運転時のみ)
節電センサー感知範囲	上下60°、左右60°(約2m)	機能	減灯機能、メモリー機能、加湿単独運転
加湿量	弱/130 ml/h、強/350 ml/h	加湿方式	超音波、超音波＋ヒーター
水タンク容量	3 L	安全装置	温度ヒューズ、サーモスタート、転倒時自動オフスイッチ
連続運転時間(加湿)	約7時間(ミスト最大時)	適用床面積(加湿・目安)	10畳(洋室、プレハブ)、6畳(和室、木造)
1時間あたりの電気代	約37.2円 (暖房強/1110W連続運転＋加湿強/90W連続運転時)	コード長	約1.5 m

※ 製品は改良のため、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh(税込)で計算した際の目安となります。

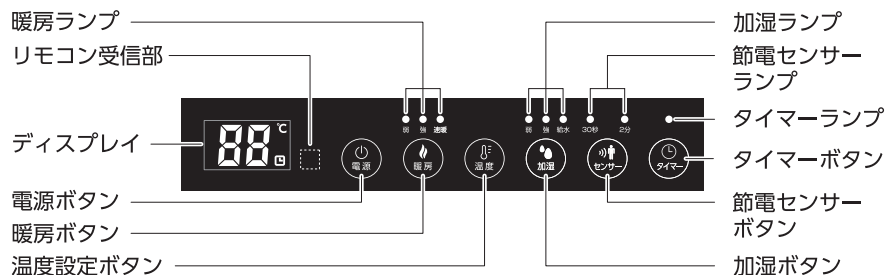
※ 加湿量や適用床面積(目安)は、使用環境により異なります。

はじめに

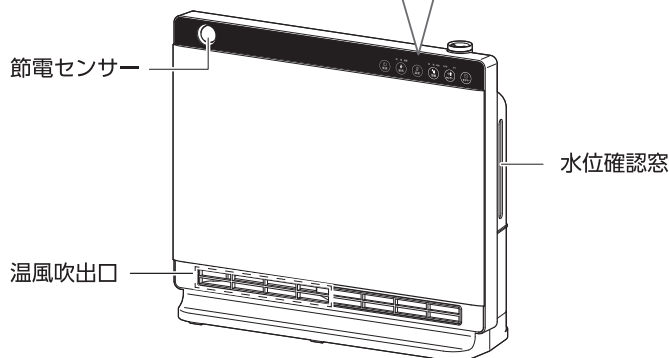
各部のなまえ

■ 本体

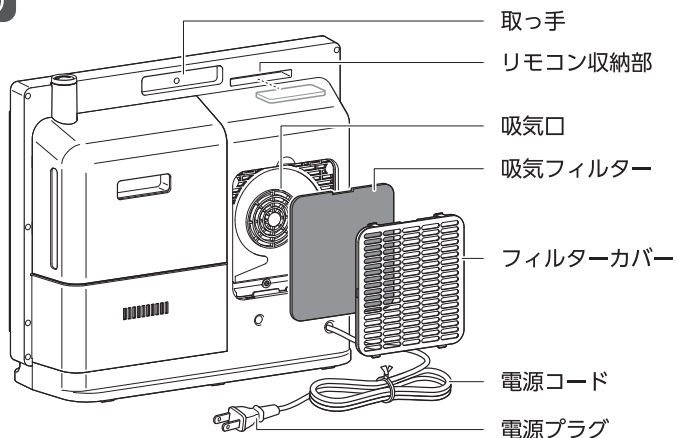
操作部



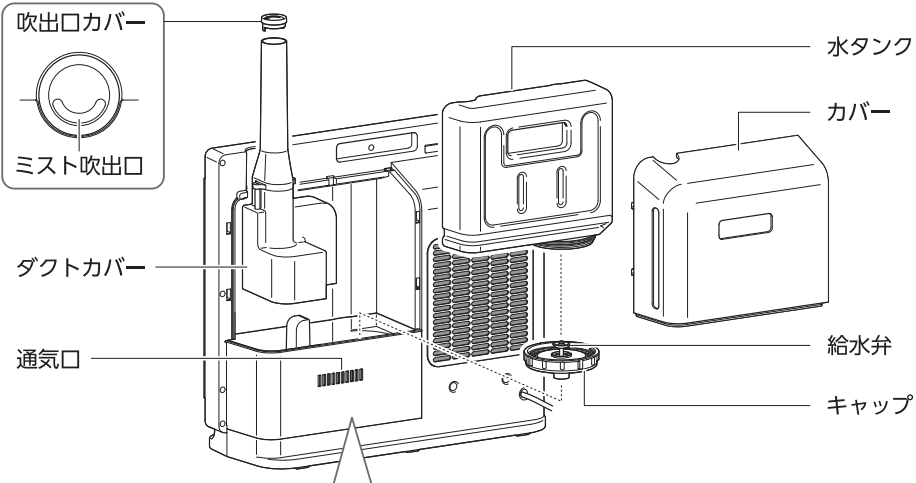
正面



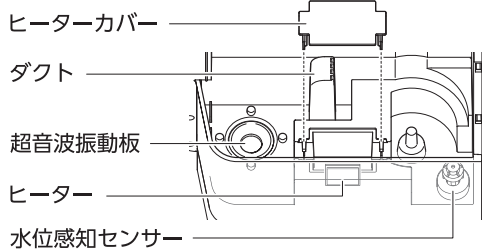
背面(吸気口周辺)



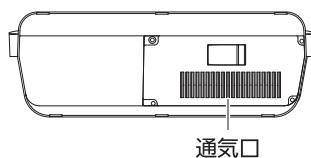
背面(水タンク周辺)



水そう部

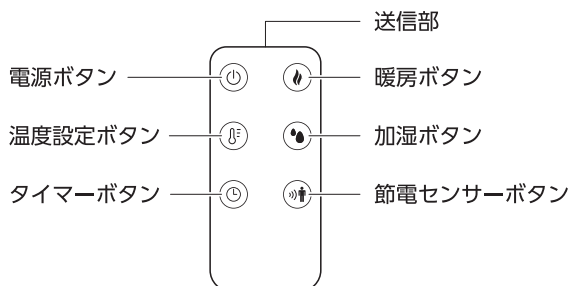


底面



■ 付属品

- リモコン



ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

■ ガスコンロの炎が赤やオレンジになる現象について

水道水に含まれるカルシウムや微量のアルカリ金属がガスコンロの炎と反応したためです。
窓を開け、換気しながらご使用ください。

設置について

■ 設置条件

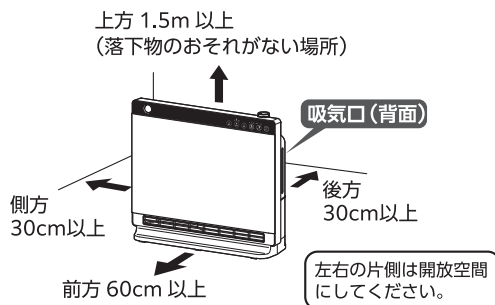
警告



必ず守る

下図の設置距離を必ずお守りください。

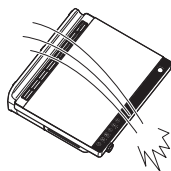
- 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
- カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 本体背面の吸気口が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。



■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりしたときに自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用になる場合は、水平な床面にもう一度設置し、ルーバーが自動で閉じたあとに、『電源』ボタンを押してください。
- 本体を動かしたときにカラカラと転がるような音がすることがありますが、これは転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。



■ 安全装置

温度が上昇すぎると本体内部のサーモスタットが感知し、自動的に運転が停止します。

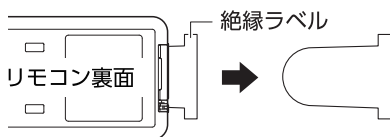
少し時間をおいて温度が下がれば、『電源』ボタンを押すことで運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

リモコンについて

工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

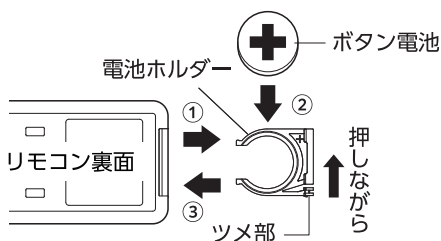
※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、
早く消耗する場合があります。



■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2032」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。

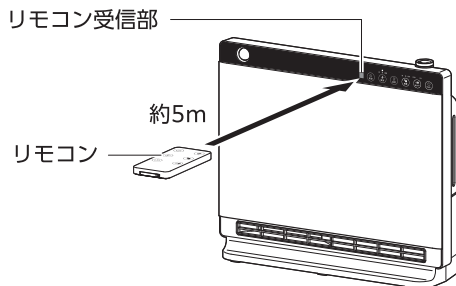


■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。

テレビやオーディオのリモコンなどを使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



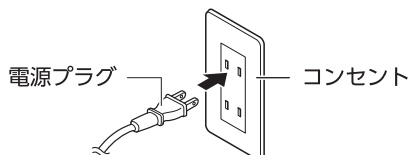
ご使用方法

運転する(連続運転)

はじめてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分のにおいがすることや、まれに少量の煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

■ 運転を開始する

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
"ピッピッ"と電子音が鳴り、待機状態となります。



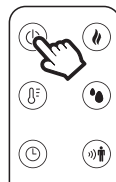
- ② 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。
『暖房』ランプ「強」が点灯して、「強」で運転を開始します。
ボタン操作時は"ピッ"と電子音が鳴ります。

メモ 加湿モードは運転しません。加湿モードで運転する際は、『加湿』ボタンを押してください。

ランプ/ディスプレイ表示



リモコン



減灯機能について

ランプとディスプレイ表示は操作しない状態が1分間続くと減灯します。

加湿モードだけで運転する

暖房運転をしないで加湿モードだけで運転することもできます。
加湿モードだけで運転する際は、P.14 ~ 15「加湿モード」をご確認いただき、必ず水タンクに水を入れてください。

停止する

■ 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。

“ピーッ”と電子音が鳴ってディスプレイの表示とすべてのランプが消灯します。

内部冷却のため約30秒間送風運転をおこなったあと、運転が停止します。

メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマーと温度設定モードの設定は除く)
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

自動オフタイマー機能

電源の消し忘れを防止するため、最後の操作から10時間後に暖房運転が自動停止します。

※節電センサーモードと温度設定モードの設定時と、加湿モードには作動しません。

⚠ 注意



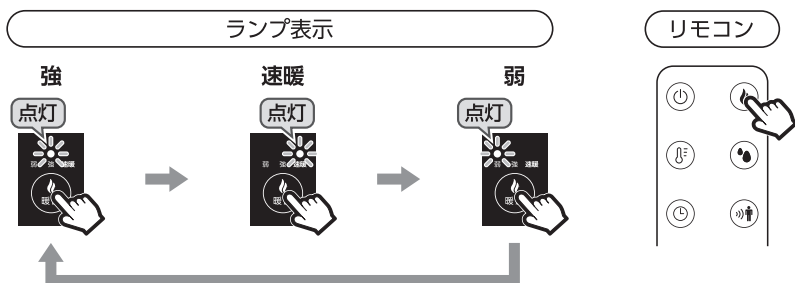
- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、『送風運転の停止』を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

暖房運転を切り替える

■ 暖房運転を切り替える

運転中に本体またはリモコンの『暖房』ボタンを押します。

『暖房』ボタンを押すたびにヒーターの動作が「強」、「速暖」、「弱」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『暖房』ランプも切り替わります。



メモ 「弱」と「強」の切り替えはヒーターの発熱量を切り替えるもので、温風の風量は変わりません。

■ 「速暖」の動作について

「強」で約10分間運転したあと、自動で「弱」に切り替わります。

ご使用方法

温度設定モード(自動運転)

- 周囲温度にあわせて自動的に運転と停止をおこないます。

例：温度設定24℃ 周囲温度24℃以上 ⇒ 停止(待機状態)

周囲温度23℃以下 ⇒ 「強」で運転

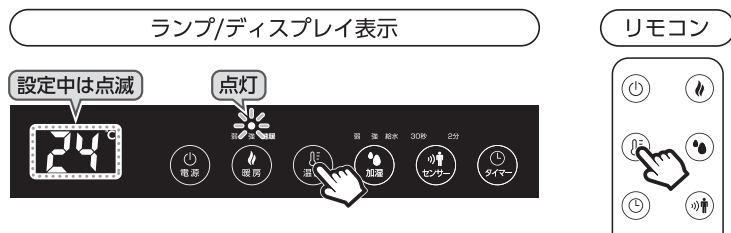
※ 本体の周囲温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する温度となります。

- 設定可能な温度は18℃～30℃です。
- 温度設定モードの設定中は、「強」運転のみとなります。『暖房』ボタンを押してもヒーターの動作(「弱」、「強」、「速暖」)を切り替えることはできません。

■ 温度設定モードを設定する

- ① 運転中に本体またはリモコンの『温度設定』ボタンを押します。

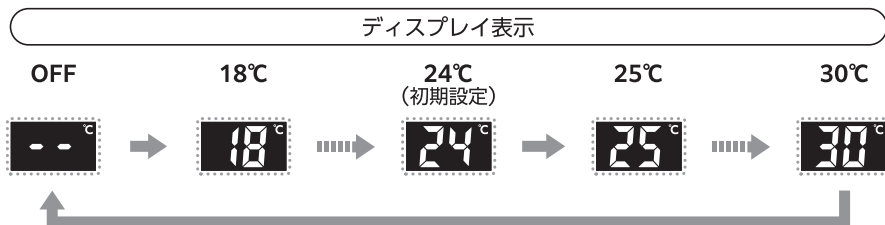
ディスプレイに設定温度を点滅表示し、『暖房』ランプ「強」が点灯します。



- ② ディスプレイの点滅中に『温度設定』ボタンを押して温度を設定します。

『温度設定』ボタンを押すたびに設定温度が1℃ずつ上がります。

点滅時間は約5秒間です。点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた温度で設定されます。



- ③ 温度を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。

■ 温度設定モード設定中のランプ表示

待機状態になると『暖房』ランプ「強」が点滅します。



■ 温度設定モードを解除する

ディスプレイに「—」と表示されるまで、『温度設定』ボタンを繰り返し押します。

ディスプレイの設定温度表示が消灯して温度設定モードが解除され、「強」で運転します。

オフタイマーを設定する

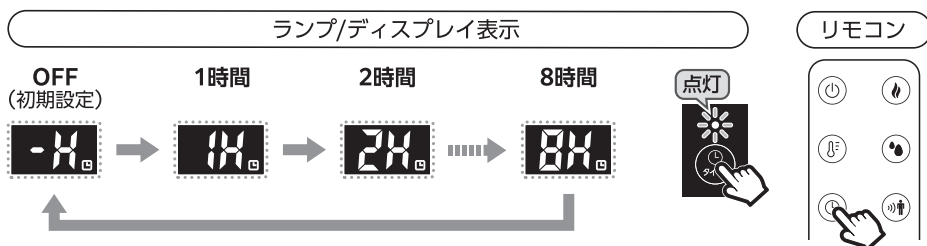
- 1 ～ 8時間の範囲（1時間単位）で設定した時間が経過すると自動で運転を停止します。
- オフタイマーは暖房運転時のみ設定できます。

■ オフタイマーを設定する

- ① 運転中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイと『タイマー設定』ランプが点滅表示します。
ディスプレイに「-H」と表示されます。



- ② ディスプレイの点滅中に『タイマー』ボタンを押して温度を設定します。
もう一度『タイマー』ボタンを押すと『タイマー』ランプが点灯し、『タイマー』ボタンを押すたびに1時間単位で時間が増えます。
点滅時間は約5秒間です。点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた時間で設定されます。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。
④ 設定した時間が経過すると運転を停止します。

■ オフタイマー設定中のディスプレイ表示

ディスプレイに残り時間を表示します。
残り時間は1時間経過するたびに切り替わって表示されます。

■ オフタイマーを解除する

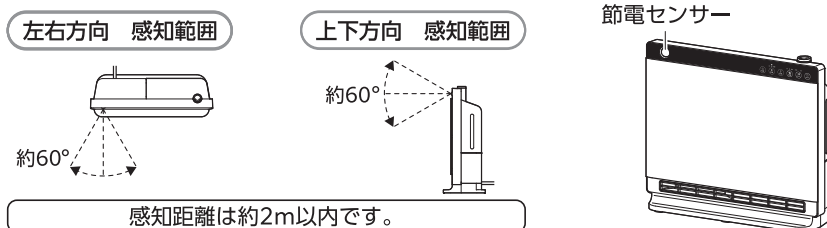
『タイマー』ボタンを押してディスプレイを点滅表示させたあと、「-H」と表示されるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押します。
ディスプレイの設定時間表示と『タイマー』ランプが消灯して、オフタイマーが解除されます。

ご使用方法

節電センサーモード(自動運転)

- 人の動きを感知して自動で暖房運転の運転と停止をおこないます。
- 節電センサーモードは暖房運転時のみ設定できます。

■ 節電センサーの感知範囲



■ 設置環境

- 節電センサーは熱の変化に反応するため、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。
 - カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
 - 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
 - 節電センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
 - 湿度の高い場所や加湿器の近く
 - エアコンなどの送風を受ける場所
- 人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどには節電センサーは感知しません。
- ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

■ 節電センサーモードを設定する

運転中に本体またはリモコンの『節電センサー』ボタンを押します。

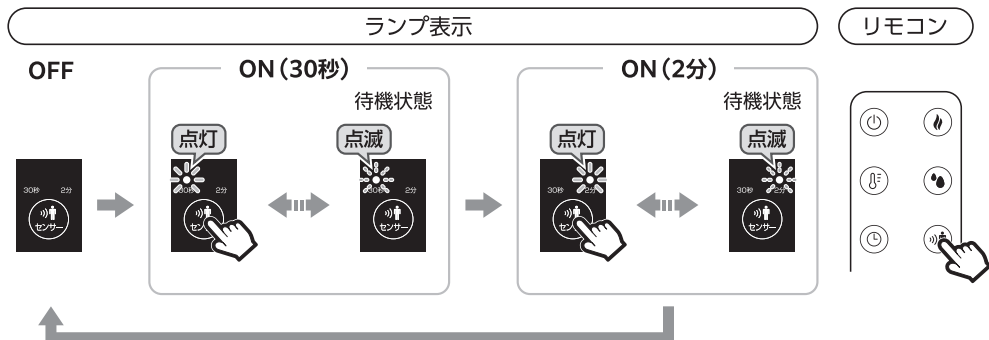
『節電センサー』ボタンを押すたびに節電センサーモードが「ON (30秒)」、「ON (2分)」、「OFF」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『節電センサー』ランプも切り替わります。

メモ

節電センサーモードの「ON (30秒)」設定時は30秒、「ON (2分)」設定時は2分間、連続で人を感知しないと「節電センサー」ランプが点滅して待機状態となり、送風運転(約30秒間)したあとに運転を停止します。待機中に節電センサーが人を感知すると"ピッ"と電子音が鳴り、運転を再開します。

■ 節電センサーモードを解除する

『節電センサー』ランプが消灯するまで『節電センサー』ボタンを繰り返し押します。



加湿モード

- 暖房と加湿の同時運転でお部屋を暖めながら乾燥も防ぐことができます。
- 加湿モード「強」に設定すると、本体（水そう部）の水をヒーターで温めて加湿量を増やし、急速に湿度を上げることができます。
- 暖房運転をしないで加湿モードだけで運転することもできます。

■ 加湿モードのご使用前に

加湿モードのご使用前に必ず水タンクに水を入れてください。

※暖房だけで運転する際は給水不要です。

⚠ 注意



必ず守る

- 水を入れる際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
また、電源プラグと電源コードを濡らさないように注意してください。
感電の原因になります。
- 必ず水道水を入れてください。
一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクと本体（水そう部）の水は毎日新しい水道水と入れ換え、常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。



禁止

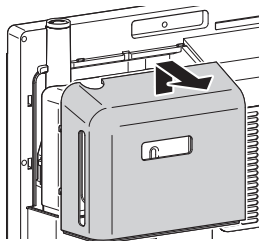
次のような水は水タンクと本体（水そう部）に入れないでください。

- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

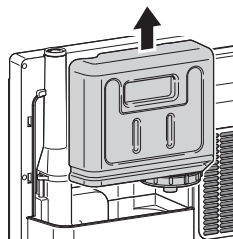
■ 水タンクに水を入れる

① カバーを取り外します。

カバーを引き上げたあと手前に引いてください。



② 水タンクを取り外します。



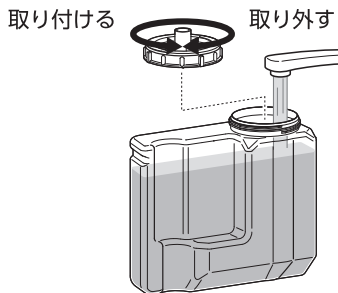
メモ

加湿モードのご使用後は、水タンクやキャップに水が付着しています。水タンクを持ち上げたあと、本体（水そう部）に水滴を落とし切ってから移動してください。

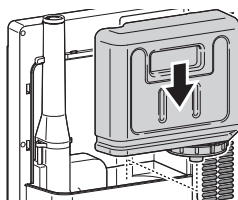
ご使用方法

③ 水タンクに水を入れます。

- キャップを時計回りに回して取り外し、洗面所やお風呂場などで常温の水道水を入れてください。
- 水を入れたあとにキャップを反時計回りに回して、しっかり取り付けてください。

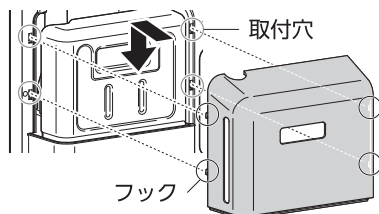


④ 水タンクを取り付けます。



⑤ カバーを取り付けます。

フック(4か所)を取付穴に引っ掛けてから押し下げてください。



■ 加湿モードを設定する

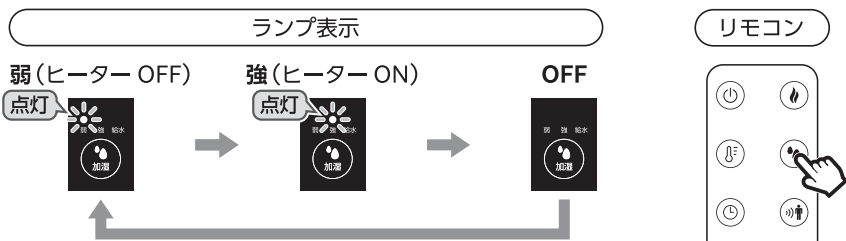
暖房運転中または待機中に、本体またはリモコンの『加湿』ボタンを押します。

加湿ランプ「弱」が点灯して、ミスト吹出口からミストが出ます。

『加湿』ボタンを押すたびに加湿モードが「弱」、「強」、「OFF」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『加湿』ランプも切り替わります。

注意

- 必ず水タンクを装着し、カバーを取り付けてから動作させてください。
- 水タンクを取り付けてから本体(水そう部)に水が流れるまでミストが出ません。水タンクを取り付け後、約20秒待ってから『加湿』ボタンを押してください。



■ 加湿モードを解除する

『加湿』ランプが消灯するまで『加湿』ボタンを繰り返し押します。

■ 給水のお知らせ

水タンクの水がなくなると、“ピーッピーッピーッピーッ”と電子音が5回鳴って、『加湿』ランプ「給水」が5回点滅したあとに消灯し、自動で加湿モードを停止します。引き続きご使用になる場合は、水タンクに給水したあとに『加湿』ボタンを押してください。

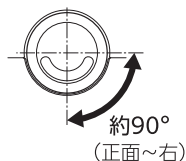
ランプ表示

5回点滅後に消灯



■ ミストの吹出方向を調節する

吹出口カバー回転させて吹出方向を調節します。吹出方向は約90°の範囲で調節できます。



お手入れと保管方法

警告



必ず守る

- お手入れや点検、保管の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やけがの原因になります。
- お手入れや点検、保管の際は、本体が十分に冷めてからおこなってください。やけどの原因になります。

注意



必ず守る

長期間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体(水そう部)に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったままで保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

■ 本体外側のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてお手入れしてください。

汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった柔らかい布で拭き取ってください。

仕上げに柔らかい布で乾拭きしてください。

- お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- お手入れのあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。

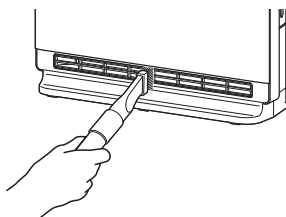
■ 温風吹出口(送風口)と通気口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

温風吹出口周囲の変色について

ご使用方法、ご使用状況によっては温風吹出口の周囲が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。また変色や変形の原因になりますので、次のようなご使用方法は避けください。

- 吸気口や吸気フィルターにホコリが詰まった状態での使用。
- 吸気口、温風吹出口付近に障害物がある状態での使用。
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用。



■ フィルターカバー、吸気フィルター、吸気口のお手入れ

フィルターカバーを取り外して、吸気フィルターと吸気口のお手入れをしてください。

フィルターカバー

- すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取り、本体と同様のお手入れをしてください。
- 取り外した状態で水洗いもできます。水洗いをしたあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。

吸気フィルター

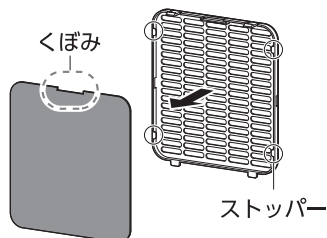
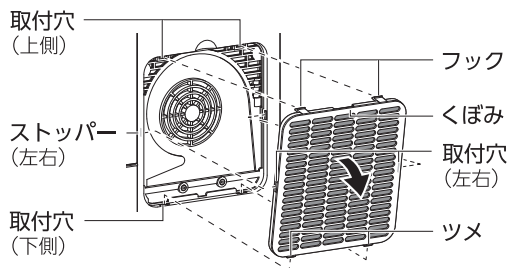
水洗いをしたあと陰干しをして十分に乾かしてください。

吸気口

すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ってください。

■ フィルターカバーと吸気フィルターの取り外し/取り付けかた

- ① フィルターカバーを本体から取り外します。
くぼみに指をかけて手前に引いてください。
- ② 吸気フィルターをフィルターカバーから取り外します。



- ③ 次の内容に注意して取り外しと逆の手順で取り付けます。

● 吸気フィルター

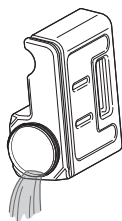
くぼみに上に向け、フィルターカバーからはみ出さないようにストッパー（4か所）の内側に引っ掛けてください。

● フィルターカバー

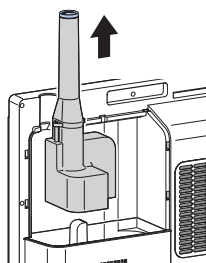
ツメ（2か所）を取付穴（下側）に差し込みながら、フック（2か所）を取付穴（上側）に引っ掛けたあと、フィルターカバーの両端を押さえてストッパーを取付穴（左右）にはめ込みます。

■ 水の捨てかた

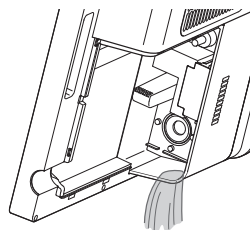
- ① 「加湿モード/水タンクに水タンクに水を入れる」に従って水タンクを取り外し、水タンクに残った水を捨てます。



- ② ダクトカバーを取り外します。



- ③ 本体（水そう部）に残った水を捨てます。



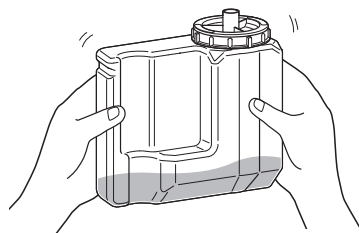
■ 水タンクのお手入れ

● 外側のお手入れ

本体の外側と同様のお手入れをしてください。

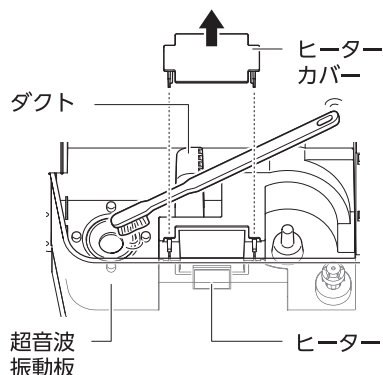
● 内側のお手入れ

少量の水を入れて軽く振り洗いしたあと、水を捨てます。汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用し、洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。



■ 本体内側のお手入れ

- 前ページの「水の捨てかた」に従って部品を取り外し、水タンクと本体(水そう部)の水を捨てて、本体外側と同様のお手入れをしてください。
- ヒーター部周囲のお手入れの際は、ヒーターカバーを取り外してください。
- ヒーター部周囲と超音波振動板は、歯ブラシなどの柔らかいブラシでこすって汚れを落としてください。
 - 金属製のブラシなどでこすると、傷が付き、故障の原因となりますので、使用しないでください。
 - 超音波振動板の汚れを取り除く際は、衝撃を与えないよう丁寧に取り除いてください。



注意

加湿モードの停止直後は、ヒーターと超音波振動板が高温になっているため、直接触れないでください。

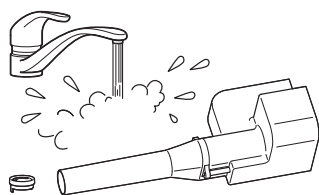
- 汚れがひどい場合は、クエン酸水溶液(目安濃度：1～5%)を水そう部に注水し、約1時間程度おいたのち、歯ブラシなどでこすって汚れを落としてください。

注意

- クエン酸は付属しておりません。市販品をお買い求めください。
- クエン酸水溶液の濃度が濃すぎると、本体が破損するおそれがあります。
- 金属ブラシなどの硬いものでこすらないでください。
- ダクトに水が入らないように注意してください。本体の故障や水漏れの原因になります。

■ ダクトカバーと吹出口カバーのお手入れ

吹出口カバーをダクトカバーから取り外して水洗いします。汚れが落ちにくいときは、本体外側と同様に薄めた台所用中性洗剤でお手入れしてください。



■ 取り外した部品を取り付ける

破損などが無いことを確認し、取り外したときの逆の手順で取り付けてください。

■ 保管方法

- 水タンクと本体(水そう部)の水は必ず捨ててください。
- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。

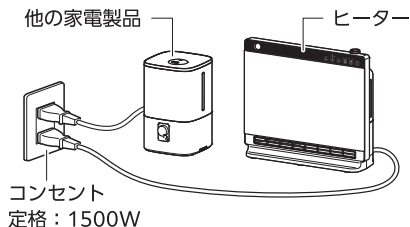
コンセントの点検

●コンセントなどの配線器具には寿命があります。

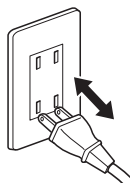
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

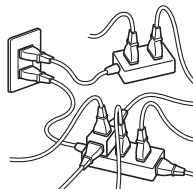
✕ 定格容量いっぱいで使用する



✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



✕ タコ足配線する



●次のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
- 電源プラグやコンセントが触れられないほど熱い。
- 表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- 表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。

変色、焦げあと

ヒビ割れ

ゆるみ、ぐらつき



⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。
焼損や火災、事故の原因になります。

長年ご使用のヒーターはよく点検をおこなってください。

●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが触れられないほど熱い。
(別のコンセントに差し直しても熱い)
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

故障かな?と思ったら

スリーアップカスタマーサポートにご連絡いただく前に、
下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグが外れている。	電源プラグをコンセントに接続してください。
運転しない	- 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押していない。 - 安定した水平な場所に置かれていない。(転倒時自動オフスイッチが働いている) - 内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。	- 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 - 安定した平らな床面でお使いください。 - 本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてからもう一度運転をしてください。
運転が停止した	自動オフタイマーが作動して停止した。	暖房運転時は、最後の操作から10時間後に自動停止します。(節電センサーと温度設定モードの設定中と、加湿モードは除く)
温風が出ない	吸気口と吸気フィルターが汚れている。	吸気口と吸気フィルターのお手入れをしてください。
運転音が大きい	- 安定した水平な場所に置かれていない。 - 吸気口と吸気フィルターが汚れている。	- 安定した平らな床面でお使いください。 - 吸気口と吸気フィルターのお手入れをしてください。
異臭がする	- はじめて運転をしたため。 - 吸気口と吸気フィルターが汚れている。 - 本体(水そう部)と水タンクが汚れている。または水を入れ替えていない。	- はじめてご使用になる際は、においや、まれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になります。 - 吸気口と吸気フィルターのお手入れをしてください。 「お手入れと保管方法」に従って、本体(水そう部)と水タンクをお手入れしたあと、新しい水と入れ替えてください。
リモコンで動作しない	- ボタン電池が消耗している。 - ボタン電池の向き(+/-)が間違っている。 - 本体の受信部にリモコン送信部を向けていない。または本体の受信部とリモコン送信部の間に障害物がある。 - 本体とリモコンとの距離が離れている。 - 本体のリモコン受信部またはリモコンの送信部が汚れている。	- 新しいボタン電池に交換してください。 - ボタン電池を正しい向きに入れ直してください。 - 障害物を取り除き、リモコン送信部を本体の受信部に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。 - 操作距離は直線で約5mです。操作位置または本体の設置場所を変更してください。 - 本体の受信部とリモコンの送信部のお手入れをしてください。
温風が停止した	温度設定モードで周囲温度が設定温度に達した。	周囲温度が設定温度に達すると、待機状態となり『暖房』ランプ「強」が点滅します。周囲温度が下がるまで待つか、設定温度を変更してください。

点検・サービス

症 状	考えられる原因	対処方法
『暖房』ボタンを押しても操作できない	温度設定モードを設定している。	温度設定モードの設定中は、ディスプレイに温度が表示されて「強」運転のみとなります。『暖房』ボタンを押してもヒーターの動作（「弱」、「強」、「速暖」）を切り替えることはできません。ヒーターの動作を切り替えたい場合は、温度設定モードを解除してください。
節電センサーが感知しない	節電センサーの感知範囲を超えている。	節電センサー感知範囲内でお使いください。
節電センサーモードで停止しない	- 節電センサーモードに設定されていない。 - 節電センサーに直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。	『節電センサー』ボタンを押して節電センサーモードに切り替えてください。 - 設置環境について、P.13「節電センサーモード（自動運転）」をご確認ください。
ミストが出ない	- 水タンクの水がなくなった。 - 水タンクが本体に確実に取り付けられていない。 - 給水した直後である。 - 超音波振動板が汚れている。 『加湿』ボタンを押していない。	- 水タンクに給水してください。 - 水タンクを本体に確実に取り付けてください。 - 給水した直後は、水タンクから本体（水そう部）に水が流れるまで約20秒かかります。 - 超音波振動板に水あかなどが付着するとミストの出方が悪くなります。超音波振動板のお手入れをしてください。 『加湿』ボタンを押さないと加湿が開始されません。『加湿』ボタンを押してください。
ミストが温かくない	ミスト粒子の温度が下がった。	加湿モード「強」の設定時は、本体（水そう部）の水をヒーターで温めますが、ミスト粒子は非常に細かいため吹き出した際に温度が下がります。異常や故障ではありません。
湿度が上がらない	- 適用床面積を超えた部屋で使用している。 - 部屋の窓やドアが開いている。	- 適用床面積内でご使用ください。 - 窓やドアを閉めてお使いください。
運転を停止しても送風する	運転を停止した直後である。	運転を停止した直後は、ヒーターの内部冷却のため約30秒間送風運転をおこないます。
オフタイマーと節電センサーモードで、加湿が停止しない	オフタイマーと節電センサーモードは、暖房運転にのみ作動するため。	暖房運転と加湿モードで運転している際にオフタイマーと節電センサーモードを設定すると、暖房運転は停止（または待機）しますが、加湿モードは運転を続けます。
背面に水が垂れている	加湿モードの使用後に水タンクを取り外す際、水タンクやキャップに付着した水が垂れた。	水タンクを取り外す際は、水タンクを持ち上げたあと、本体（水そう部）に水滴を落とし切ってから移動してください。
給水エラーが出続ける	水位感知センサーが浮いていない。	水位感知センサーが水面に浮いていることを確認してください。浮いていない場合は、センサーを手で触ってください。
カラカラと転がるような音がする	転倒時自動オフスイッチが動いている。	本体を動かしたときに音がする場合は、転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。

※ 上記の点検をおこなっても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 弊社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。